

旧校舎をテレワークオフィスに整備・拡充し、IT企業誘致へ （令和元年度：地域IoT実装推進事業）

事業概要

- 平成31年3月、旧今井小学校の一室にテレワークオフィスを整備し、（一財）塩尻市振興公社の業務を受注し、シェアワークを始めた。
- 令和元年度は、本事業を活用し、隣接する空き教室への拡張と既存オフィスの機能拡充（計PC16台整備）を行い、多様な働き方の実現と女性の就業を促進（新たな地域雇用の創出）した。
- 令和2年度は、拡充した新オフィスをフル稼働すべく、ワーカー養成講座を開催。基礎編を受講した16名のうち、現在14名の方が応用編に移行し、IoTに関する知識を深め、技術の向上を目指している。
- 今後は、新たなワーカーが育成されたことにより、受注業務量の増加を目指す。

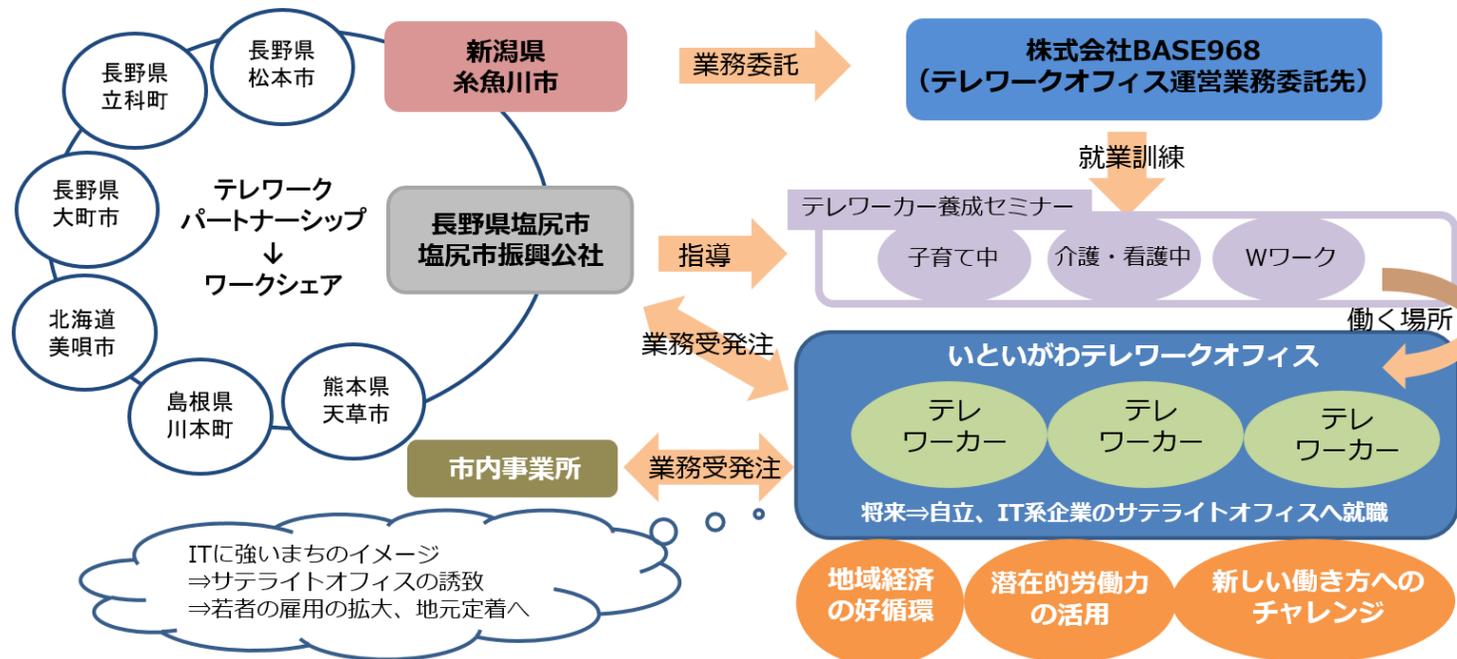
テレワーク拠点（旧今井小学校）



外観



内観



事業詳細

事業名称	いといがわテレワークオフィス整備推進事業		
事業主体	糸魚川市		
支援省庁	総務省	支援事業名	地域IoT実装推進事業(R1)
関係団体	糸魚川市、一般財団法人塩尻市振興公社		

実績・効果

本事業では、整備済みオフィスに隣接する部屋を整備し、拡張を行うことで、機能の拡充を図り、テレワーカーの就業環境の整備を図った。

◆定量的効果	H30	R1	R2
テレワーカー数	17人	24人	25人
稼働時間 (1か月あたりの勤務時間合計)	900時間	900時間	1000時間

分析・今後の計画・目標

テレワーカーの就業環境を整備・拡張したことにより、新たなテレワーカーの育成と業務の受注量を増やすことが可能になった。今後、安定した稼働時間と収入の確保も達成されると見込んでおり、将来的にはテレワーカーの自立やIT系企業の誘致にも取り組む。